

**製品名: mTOR (リン酸化 Ser2448) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21332**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	ホスホ
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:289kD;Observed MW:250kD

**抗原情報**

遺伝子名	MTOR MTOR;FRAP;FRAP1;FRAP2;RAFT1;RAPT1;Serine/threonine-protein kinase mTOR;FK506-binding protein 12-rapamycin complex-associated protein 1;FKBP12-rapamycin complex-associated protein;Mammalian target of rapamycin;mTOR;Mechanistic tar
別名	
遺伝子 ID	2475
SwissProt ID	P42345
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

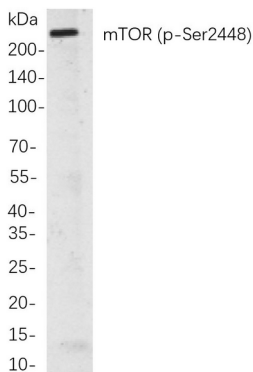
## 背景

細胞局在: 細胞質。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ホスファチジルイノシトールキナーゼ関連キナーゼファミリーに属する。これらのキナーゼは、DNA 損傷や栄養欠乏などのストレスに対する細胞応答を媒介する。このタンパク質は、FKBP12-ラパマイシン複合体による細胞周期停止および免疫抑制効果の標的となる。ANGPTL7 遺伝子はこの遺伝子のイントロンに位置する。  
[RefSeq 提供、2008 年 9 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



mTOR (p-Ser2448) ウサギ mAb を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。